

病害虫 防除だより

No. 374

令和6年3月28日

トマトキバガの発生に注意!

昨年10月に県内の複数地点でフェロモントラップによる成虫の誘殺が確認され（令和5年10月19日付け特殊報第2号）、本園での被害は確認されていませんでした。

令和6年3月中旬に、県内のトマトハウスで幼虫による葉の食害が確認されました。（図1, 2）現在、他での発生報告はありませんが、成虫が飛来またはハウス内で越冬している可能性があると考えられ、今後気温が高くなると、ハウス、さらには露地での発生も懸念されます。作物をよく観察し、発生が見られたら直ちに薬剤で防除しましょう。

1) 防除対策

トマト栽培ハウスでは、開口部全部に防虫ネット（目合い0.8mm以下）を設置し、トマトキバガのハウス内への侵入を防ぐとともに、ハウス外への逃げ出しを防ぐ。

2) 防除薬剤

葉の食害の有無をよく観察し、発生を確認したら直ちに防除を行う。

IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	散布液量(L/10a)	適用作物		使用方法
						トマト	ミニトマト	
5	ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで	2回以内	100~300	○	○	散布
	ラディアントSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで	2回以内		○	○	
5、未	ダブルシューターSE	1,000倍	収穫前日まで	2回以内		○	○	
6	アグリメック	500~1,000倍	収穫前日まで	3回以内		○	×	
	アフーム乳剤	2,000倍	収穫前日まで	5回以内		○	○	
11A	エスマルクDF	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	-		○	○	
13	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内		○	○	
22A	トルネードエースDF	2,000倍	収穫前日まで	2回以内		○	×	
22B	アクセルフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	3回以内		○	○	
28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内		○	○	
	ベネピアOD	2,000倍	収穫前日まで	3回以内		○	○	
	ヨーバルフロアブル	2,500倍	収穫前日まで	3回以内		○	○	
30	グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内		○	○	
UN	ブレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	2回以内		○	○	
28	ベリマークSC	400株当たり25ml	育苗期後半~定植当日	1回	400株当たり 10~20L	○	○	灌注
	プリロン粒剤	2g/株	育苗期後半~定植時	1回		○	○	株元散布
	プリロン粒剤オメガ	2g/株	育苗期後半~定植時	1回		○	○	株元散布



図1 トマトの食害葉



図2 幼虫(終齢幼虫約8mm)



図3 成虫(フェロモントラップ誘殺虫)

令和6年度農作物病害虫防除指針 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先: 0776(54)9315

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujiyo.html>

QRコードをスキャンしてください→

